

原子力災害事故に備えた、安定ヨウ素剤の備蓄及び配布について

篠山市

安定ヨウ素剤とは

篠山市は、高浜原発から約45キロから70キロの距離に位置し、原子力事故が起きた場合には、いろいろな放射性物質が放出され、風向きなどの条件により篠山市にも影響があることが想定されています。

その中の一つの放射性ヨウ素は、呼吸や食物とともに体の中に取り込まれ、甲状腺に集まり、そのため甲状腺癌の原因になる恐れがあります。これに対し、前もって安定ヨウ素剤を服用すれば、放射性ヨウ素が甲状腺に集まることを防ぎ、尿や便から排出されて、発癌の危険性（リスク）を低減することができます。

安定ヨウ素剤は、危険な薬剤ではなく、副作用についても、ヨードアレルギー等をお持ちの方以外は、あまり心配することはありません。

篠山市では、東日本大震災の教訓を踏まえて、万が一の原子力事故に備えて、安定ヨウ素剤5万人分を備蓄しました。

備蓄場所

備蓄場所
篠山市役所（本庁）
丹南健康福祉センター
東雲診療所
草山診療所
今田診療所

※3歳未満は粉末を溶剤で服用。

服用方法

安定ヨウ素剤の服用は、13歳以上で一回2丸、3歳以上13歳未満は一回1丸、3歳未満は、液状の安定ヨウ素剤を服用する。ただし、3歳未満については、上記備蓄場所に取りに行き、調剤したものをその場で服用する。

注意事項

安定ヨウ素剤の効果は、すべての放射線被ばくに対応するものではなく、放射性ヨウ素による内部被ばくに対する防護効果に限定されることから、安定ヨウ素剤の服用は、避難や屋内退避等の防護措置と組み合わせて行う必要があります。また、安定ヨウ素剤の効果は24時間なので、適切なタイミングで服用することが必要となります。

配布方法及び服用の指示

緊急時においては、市職員が各自治会を担当する「地域サポート職員制度」を活用し、各自治会の公民館等の公共的施設まで搬送し、そこで各個人に配布することとします。なお、3歳未満の子どもについては、上記配備場所に行って、調剤したものをその場で服用してください。（現在は、小分けできる液状の薬剤が開発されていないため）

服用のタイミングについては、防災行政無線、デカンショ防災ネットの防災メールなどを通じて指示します。

